

アセアン諸国の市場および知財状況分析(2)

IPNJ国際特許事務所 所長弁理士 乾 利之
東京工業大学 名誉教授 田中 義敏

7. アセアン各国の知財状況

特許出願、商標登録出願および意匠登録出願の件数に関し、ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイおよびベトナムの9カ国（意匠登録出願の件数はラオスを除く8カ国）について調査・整理を行った。ミャンマーについては、件数データがないかもしくは抽出できないため本調査の対象外としている。

また、各種知財の利用度合いについて、国ごとおよび事業分野ごとに算出・比較することを試みた。

7.1 アセアン各国における特許出願件数の推移

2014～2018年のアセアン各国における特許出願件数および各国・各年における非居住者による出願件数の割合（以下、非居住者率）を調査・算出した結果を表5に示す。各国における特許出願件数の推移については、さらに図6に示す。

表5および図6に示すように、特許出願件数が多いのは、シンガポール、インドネシア、タイ、マレーシアである。次いで、ベトナム、フィリピンと続き、ブルネイ、カンボジア、ラオスは非常に少ない件数である。

また、増減率より、特許出願の件数は全体的に増加傾向に

図6 各国における特許出願件数の推移

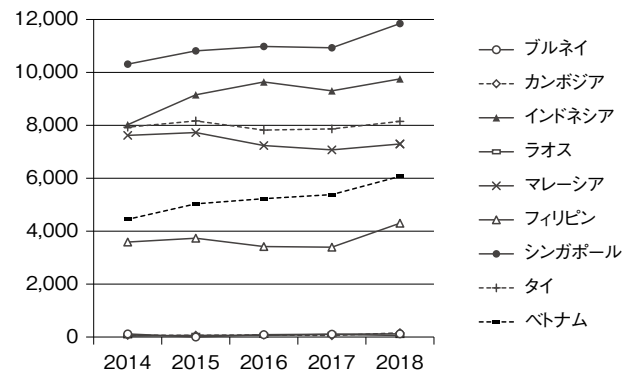


表5 各国における特許出願件数・非居住者率の推移

国名/年		2014	2015	2016	2017	2018	増減率
ブルネイ	特許出願件数	117	-	89	107	121	3.4%
	非居住者率	78%	-	82%	93%	80%	-
カンボジア	特許出願件数	67	65	80	55	159	137.3%
	非居住者率	97%	100%	96%	100%	100%	-
インドネシア	特許出願件数	8,023	9,153	9,639	9,303	9,754	21.6%
	非居住者率	91%	88%	89%	76%	86%	-
ラオス	特許出願件数	44	62	63	100	59	34.1%
	非居住者率	98%	98%	100%	97%	98%	-
マレーシア	特許出願件数	7,620	7,727	7,236	7,072	7,295	-4.3%
	非居住者率	82%	84%	85%	84%	85%	-
フィリピン	特許出願件数	3,589	3,734	3,419	3,395	4,300	19.8%
	非居住者率	91%	90%	90%	90%	88%	-
シンガポール	特許出願件数	10,312	10,814	10,980	10,930	11,845	14.9%
	非居住者率	87%	86%	85%	85%	87%	-
タイ	特許出願件数	7,930	8,167	7,820	7,865	8,149	2.8%
	非居住者率	87%	87%	86%	88%	89%	-
ベトナム	特許出願件数	4,447	5,033	5,228	5,382	6,071	36.5%
	非居住者率	89%	88%	89%	89%	89%	-

* 非居住者率：特許出願件数のうち非居住者の特許出願件数の割合

* 増減率：2014年の件数に対する2018年の増減件数の割合(%)：(2018年件数-2014年件数)/2014年件数×100

WIPO statistics databaseに基づき筆者作成（ミャンマーはデータを抽出できなかった。）

あることがわかる。件数が多い国のうち、上位のシンガポールおよびインドネシアと、下位のベトナムおよびフィリピンは件数の増加率が高く、これらは注目すべき国であるといえる。

また、非居住者率はいずれの国でも約80%以上であることから、特許出願の多くがアセアン外の国に拠点を置く企業によって行われていることがわかる。このことから、アセアン各国において、現時点では技術開発に注力する各国内企業はあまり多くないこと、また、特許面において日本企業と競合するのはアセアン外の国に拠点を置く企業であることがわかる。

7.2 アセアン各国における商標登録出願件数の推移

2014～2018年のアセアン各国における商標登録出願件数および各国・各年における非居住者率を調査・算出した結果を表6に示す。各国における商標登録出願件数の推移については、さらに図7に示す。

表6および図7に示すように、商標登録出願件数が多いのは、インドネシア、ベトナム、タイ、マレーシアであり、フィリピン、シンガポールと続き、カンボジア、ラオス、ブルネイは少ない。ただし、カンボジア、ラオス、ブルネイにおいても、比較的多くの商標登録出願がなされている。

また、増減率より、商標登録出願の件数は全体的に増加傾

向にあることがわかる。

件数が多い国について見てみると、上位のインドネシアおよびベトナムの増加率が非常に高く、次いでフィリピンも高い。これらは注目すべき国であるといえる。また非居住者率は、タイ、マレーシア、フィリピン、シンガポールが比較的高く（約40～75%）、インドネシア、ベトナムは比較的低い（約20～30%）。結果として、上位2カ国における非居住者率が低くなっている。インドネシア、ベトナムは、各々の国内企業等が商標制度を積極的に活用していることがわかった。これらの国は、事業活動において、商標を重視する国であると考えられる。

図7 各国における商標登録出願件数の推移

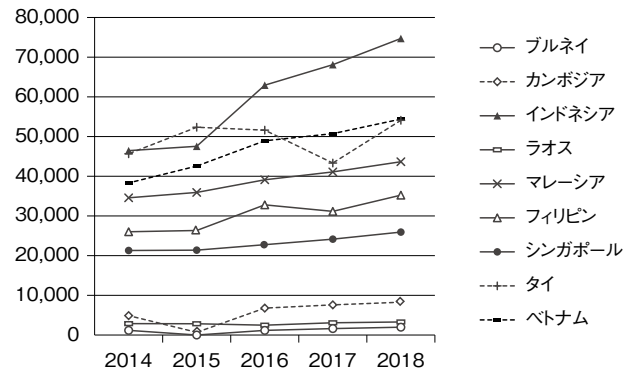


表6 各国における商標登録出願件数・非居住者率の推移

国名/年		2014	2015	2016	2017	2018	増減率
ブルネイ	商標登録出願件数	1,176	-	1,168	1,620	1,974	67.9%
	非居住者率	91%	-	91%	93%	93%	-
カンボジア	商標登録出願件数	4,889	678	6,783	7,596	8,266	69.1%
	非居住者率	76%	100%	76%	72%	72%	-
インドネシア	商標登録出願件数	46,452	47,544	62,939	68,106	74,706	60.8%
	非居住者率	26%	22%	23%	24%	24%	-
ラオス	商標登録出願件数	2,874	2,839	2,478	3,086	3,290	14.5%
	非居住者率	94%	94%	92%	90%	92%	-
マレーシア	商標登録出願件数	34,571	35,923	39,107	41,093	43,656	26.3%
	非居住者率	55%	56%	53%	53%	55%	-
フィリピン	商標登録出願件数	26,017	26,337	32,795	31,153	35,236	35.4%
	非居住者率	44%	44%	52%	40%	39%	-
シンガポール	商標登録出願件数	21,296	21,380	22,758	24,153	25,932	21.8%
	非居住者率	74%	75%	74%	73%	76%	-
タイ	商標登録出願件数	45,661	52,344	51,615	43,330	54,097	18.5%
	非居住者率	40%	36%	36%	39%	48%	-
ベトナム	商標登録出願件数	38,317	42,564	48,931	50,733	54,398	42.0%
	非居住者率	31%	28%	29%	30%	31%	-

*非居住者率：商標登録出願件数のうち非居住者の商標登録出願件数の割合

*増減率：2014年の件数に対する2018年の増減件数の割合(%)：(2018年件数-2014年件数) / 2014年件数 × 100

*国際登録出願は主に非居住者の出願としてカウント

WIPO statistics databaseに基づき筆者作成（ミャンマーはデータを抽出できなかった。）

7.3 アセアン各国における意匠登録出願件数の推移

2014～2018年のアセアン各国における意匠登録出願件数および各国・各年における非居住者率を調査・算出した結果を表7に示す。各国における意匠登録出願件数の推移については、さらに図8に示す。

表7および図8に示すように、意匠登録出願件数が多いのは、タイ、次いでインドネシア、次いでベトナム、これにシンガポール、マレーシア、フィリピンの群と続き、カンボジア、ブルネイは非常に少ない。

また、増減率より、意匠登録出願の件数は国により増減の状況が異なることがわかる。

件数が多い国について見てみると、タイ、ベトナム、フィ

リピンは増加傾向であり、これらは注目すべき国であるといえる。また非居住者率は、シンガポール、マレーシアが比較的高く（約50～85%）、フィリピンが中間であり（約40～50%）、タイ、インドネシア、ベトナムは比較的低い（約20～40%）。結果として、上位3カ国における非居住者率が低くなっている。タイ、インドネシア、ベトナムは、国内企業等が意匠制度を活用していることがわかった。これらの国は、事業活動において、商標とともに意匠を重視する国でもあると考えられる。

8. 特許・商標・意匠の利用度合いの比較

上述の件数情報に基づいて、2014～2018年における国ごとの特許出願件数の平均、商標登録出願件数の平均、意匠登録出願件数の平均を算出した。また、算出した平均件数を利用して、特許、商標および意匠ごとに、GDP（億米ドル）／件数、人口（万人）／件数を算出した。さらに、特許出願件数を基準とした商標登録出願件数（商標登録出願件数／特許出願件数）、特許出願件数を基準とした意匠登録出願件数（意匠登録出願件数／特許出願件数）により示される利用指数を算出した。これらの結果を表8に示す。

また、表8に示す結果に基づいて、特許・商標・意匠の種類ごとの傾向、および国ごとの傾向を以下に簡単に述べる。

図8 各国における意匠登録出願件数の推移

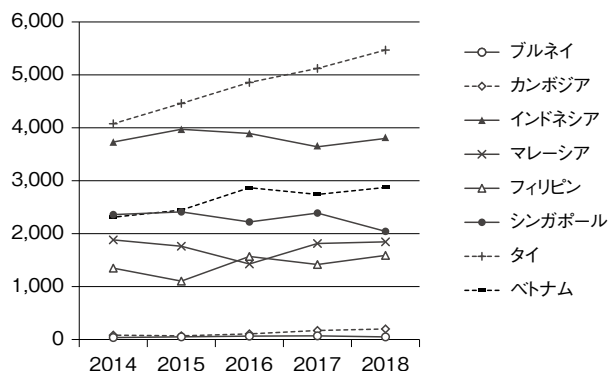


表7 各国における意匠登録出願件数・非居住者率の推移

国名／年		2014	2015	2016	2017	2018	増減率
ブルネイ	意匠登録出願件数	37	50	64	69	49	32.4%
	非居住者率	89%	—	—	99%	80%	—
カンボジア	意匠登録出願件数	82	69	106	170	199	142.7%
	非居住者率	55%	87%	90%	89%	73%	—
インドネシア	意匠登録出願件数	3,731	3,972	3,893	3,641	3,799	1.8%
	非居住者率	32%	33%	34%	36%	36%	—
マレーシア	意匠登録出願件数	1,882	1,762	1,427	1,814	1,845	-2.0%
	非居住者率	56%	64%	51%	71%	71%	—
フィリピン	意匠登録出願件数	1,348	1,103	1,569	1,417	1,589	17.9%
	非居住者率	39%	51%	34%	47%	42%	—
シンガポール	意匠登録出願件数	2,360	2,411	2,221	2,389	2,043	-13.4%
	非居住者率	67%	68%	71%	75%	83%	—
タイ	意匠登録出願件数	4,077	4,461	4,857	5,122	5,469	34.1%
	非居住者率	26%	24%	23%	28%	26%	—
ベトナム	意匠登録出願件数	2,311	2,445	2,868	2,741	2,873	24.3%
	非居住者率	31%	34%	35%	42%	41%	—

*非居住者率：意匠登録出願件数のうち非居住者の意匠登録出願件数の割合

*増減率：2014年の件数に対する2018年の増減件数の割合(%)：(2018年件数-2014年件数)／2014年件数×100

*国際登録出願は主に非居住者の出願としてカウント

WIPO statistics databaseに基づき筆者作成（ミャンマーおよびラオスはデータを抽出できなかった。）

8.1 特許・商標・意匠の種類ごとの傾向

特許については、まず、平均出願件数の多いシンガポール、インドネシア、タイ、マレーシアが出願すべき国としてリストアップされるべきである。そしてGDP／件数の視点からはインドネシア、フィリピン、タイ、人口／件数の視点からはフィリピン、インドネシア、ベトナムがそれぞれ事業分野によっては出願するメリットがさらに生じる国であるといえる。

次いで、商標については、まず、利用指数をみると、各国とも商標の利用度合いが高いことがわかる。そのため、アセアン各国においては、商標出願は優先して行うべき知財活動であるといえる。利用指数の高いベトナム、フィリピン、インドネシア、タイは、商標が重要視されている国であるといえる。また、平均出願件数の多いインドネシア、タイ、ベトナム、マレーシアは出願すべき国としてリストアップされるべきである。そしてGDP／件数の視点からはインドネシア、シンガポール、フィリピン、人口／件数の視点からはインドネシア、フィリピン、ベトナム、タイがそれぞれ事業分野によっては出願するメリットがさらに生じる国であるといえる。

意匠については、まず、利用指数をみると、各国とも意匠の利用度合いが日本に比べて高いことがわかる。利用指数の高いタイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンは、意匠が重要視されている国であるといえる。また、平均出願件数の多いタイ、インドネシア、ベトナム、シンガポールは出願すべき国としてリストアップされるべきである。そしてGDP／件数の視点からはインドネシア、フィリピン、マレーシア、人口／件数の視点からはフィリピン、インドネシア、ベトナム

ムがそれぞれ事業分野によっては出願するメリットがさらに生じる国であるといえる。

8.2 国ごとの傾向

国ごとの傾向を以下に簡単に述べる。

- ・ブルネイ：現時点では主に商標出願を検討すべきである。
- ・カンボジア：現時点では主に商標出願を検討すべきである。
- ・インドネシア：特許・商標・意匠出願のいずれも検討すべきである。ただし、商標および意匠の重要度が非常に高いので、商標出願および意匠出願の検討は必須である。
- ・ラオス：現時点では主に商標出願を検討すべきである。
- ・マレーシア：特許出願の検討を中心に、併せて商標・意匠出願の検討をすべきである。
- ・フィリピン：商標・意匠出願を中心に、併せて特許出願の検討をすべきである。特に、商標出願の検討は必須である。
- ・シンガポール：特許・商標・意匠出願のいずれも検討すべきである。商標・意匠出願については、GDP、購買力、人口等を考慮し、メリットのある分野を検討する必要がある。
- ・タイ：特許・商標・意匠出願のいずれも検討すべきである。ただし、商標および意匠の重要度が非常に高いので、商標出願および意匠出願の検討は必須である。
- ・ベトナム：特許・商標・意匠出願のいずれも検討すべきである。ただし、商標および意匠の重要度が非常に高いので、商標出願および意匠出願の検討は必須である。

以下、次号に続く。

表8 特許・商標・意匠の利用度合いの比較

国名	平均出願件数			GDP (億米ドル) / 件数			人口 (万人) / 件数			利用指数		
	特許	商標	意匠	特許	商標	意匠	特許	商標	意匠	特許	商標	意匠
ブルネイ	108.5	1,484.5	53.8	1.16	0.08	2.33	0.40	0.03	0.81	1	13.68	0.50
カンボジア	85.2	5,642.4	125.2	2.67	0.04	1.82	19.08	0.29	12.98	1	66.23	1.47
インドネシア	9,174.4	59,949.4	3,807.2	1.21	0.19	2.92	2.89	0.44	6.97	1	6.53	0.41
ラオス	65.6	2,913.4	—	2.48	0.06	—	11.34	0.26	—	1	44.41	—
マレーシア	7,390.0	38,870.0	1,746.0	0.46	0.09	1.94	0.44	0.08	1.88	1	5.26	0.24
フィリピン	3,687.4	30,307.6	1,405.2	1.01	0.12	2.65	2.94	0.36	7.71	1	8.22	0.38
シンガポール	10,976.2	23,103.8	2,284.8	0.27	0.13	1.32	0.05	0.02	0.25	1	2.10	0.21
タイ	7,986.2	49,409.4	4,797.2	0.57	0.09	0.96	0.87	0.14	1.44	1	6.19	0.60
ベトナム	5,232.2	46,988.6	2,647.6	0.44	0.05	0.88	1.81	0.20	3.57	1	8.98	0.51

GDP、購買力、人口：2018年のデータ

平均出願件数：2014～2018年の平均出願件数

商標利用指数：商標登録出願件数／特許出願件数

意匠利用指数：意匠登録出願件数／特許出願件数

(参考) 2014～2018年の平均件数における日本の利用指数 商標利用指数 0.50 意匠利用指数 0.095